

# 壮春力歩

会長 鈴木末一

## スキルアップを目指して

風薫る5月19日、奈良市ボランティアインフォメーションセンターにおいて、第17回通常総会を開催し滞りなく終了したことをご報告いたします。大きな節目を越え新たな歩みを始めて2年。ひとしお感慨深いものがあります。

会が呱呱の声を挙げて以来17年、ならやまプロジェクト活動12年目を迎えます。会員は45人でスタートしたのですが、今や4倍にも達しようとしています。今日までの歩みの中で、紆余曲折はありましたが、生々発展の一途を辿ることができています。先達の皆さま方が、まさしくバイオニアスピリットを発揮され、「自分たちの前に道はない、後に道はできる」との強い信念でリードしていただいたことによると確信しています。

活動の理念に基づき、地域社会への貢献と連携の強化も進展させることができているのではと思います。とりわけ、行政や公益団体などの事業参画の推進や学校教育の一環としての学習支援活動にも精力的に取り組んできました。今日までの多面的な取り組みを通して、地域社会からの本会へのニーズなどについても分析し、スキルアップを図っていかねばと考えています。

昨年来、今までにない多数の新入会員の皆さま方をお迎えすることになりました。会員総数170人で、ならやまプロジェクト活動には、毎週80有余の方々に参加していただけるようになりました。若い世代の方々の占める割合も年々増加しています。そのような状況を踏まえ、できるだけ早い機会に、新入会員の皆さま方と胸襟を開き、語り合う集いを開催する予定であります。

本会も5年10年先を見据えて、理念に基づく活動の在り方について、会員相互の意思疎通をより一層図っていかねばと考えています。どうか皆さま方からご忌憚なくご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

## 200+200の眼差し

今年も平城宮跡で開催された天平祭ものづくり広場には、12の団体が子どもたちはもちろんのこと、大人の方も楽しめる趣向を凝らした内容のものが勢ぞろいしていました。本会は、ブンブンゴマと数珠玉ブレスレットとクマのプーさんペンダントの3点セットで出展参加しました。12の椅子席は、終日空席もなく、時には7~8人待ちの状態にもなるほどの盛況となり、隣のブースの方たちがうらやましそうに……。

出来上りの見本や材料などの説明を聞いている時から、一生懸命に取り組んで作品が完成するまでの間、子どもたちの表情がどのように変化していきだろうか。どのようなイベントでも、子どもたちの目の輝きや七変化(?)のような顔の表情など、100人いれば100の個性を垣間見ることができました。

ブースをひと回り見て、どれにしようか決めかねているように感じられた子が、会のブースの賑わいぶりに、「やりたい」「やってみよう」と決めてくれた時から、訪れてくれた多くの子どもたちの表情をつぶさに観察してみると――

例えば、

- ▽初めは心持ち自信がなさそうにしていたのに、作り始めると次第に目が輝き、完成した瞬間、満面の笑みを浮かべてくれる子。
- ▽製作に夢中になって取り組んでいる子に横合いからアドバイスするお父さんやお母さんの声には、耳もかさなないで、一心不乱に作業する子。
- ▽兄や姉に負けまいと懸命に頑張る弟や妹たち……。

1日当たり100人のペースで、子どもたちと自然工作に取り組んでいただいたスタッフの皆さんも、他のどのブースよりもいち早く目標数を達成することができ、ひと息つく暇もなかった忙しさからくる疲労感も、子どもたちの喜々とした表情と、「ありがとうございました」と挨拶してくれた明るい声に心癒され、次なる機会へのエネルギーとなっているものと思います。